

膀胱尿管逆流クリニカルパス

経過	手術前日	手術当日		手術後			退院
		手術前	手術後	1日	2～3日目	4日目	
食事	夕食まで普通に食べることができます。	ごはん、パンなどの固形物は食べられません。水分制限があります。看護師と、水分の種類、時間を確認の上、水分量を水分表に記載します。	手術後2時間後より水分開始 看護師が腸の動きを確認してから水分開始です。 透明なものから始めます。 嘔吐がなければ夕食や軽食を食べることができます。	水分制限が解除となれば、尿が出るカテーテルが細いのでたくさん尿が流れ出るよう飲水を進めます。 飲んだ量は計測して水分表に記載します。			
安静	病棟フリー	前投薬内服後は足元がふらつくのでベッド上で過ごしてください。	ベッド上安静 創部の安静を保つためにベッドにチョッキをつけます。 チョッキをつけたままベッドを90度まで上げることができます。 カテーテルや点滴を引っ張ったり、踏んだりしないようにします。		バギー、抱っこ可能 創部より入っているカテーテルが抜けたらバギーや抱っこが可能となります。 歩行できる場合は、転倒・転落に注意します。 夜間、入眠中はチョッキを装着します。	病棟フリー 尿道カテーテル抜去後は、制限はなくなります。	
保清		なし		清拭・洗髪	清拭・洗髪	シャワー浴	入浴
創部処置			痛みが強いとき、熱があるときは、医師の指示に従い、座薬を使用します	医師にて創部を綿球で消毒します。	血尿がおさまれば、医師にて膀胱のカテーテルを抜きます。	医師にて尿道カテーテルを抜きます。	退院前に超音波検査を行い、腎臓に腫れがないかを確認します。退院後の注意事項に関しては、退院療養計画書を参照ください。
排尿・排便		手術前に浣腸を行います。	尿道にカテーテルが挿入され、そこから尿を回収します。 創部より膀胱に入れているカテーテルより膀胱内を持続的に洗浄します。 尿の管理は看護師が行いますので、尿漏れなどに気付いた場合は看護師が確認します。 排便時のオムツ交換も看護師で行います。	便秘時は浣腸や緩下剤の内服を行います。	尿道のカテーテルは挿入されているので、引っ張ったりしないよう注意します。	カテーテル抜去後、排尿がしっかりできるかを観察します。 水分摂取を促し、排尿を我慢しないようにしましょう。	
注射薬			手術室で点滴を確保して帰室します。	点滴は継続します。 1日3回抗生剤の投与を行います。	術後3日目の朝の抗生剤投与後、発熱がなければ点滴を抜去します。		
内服薬		前投薬 *眠たくなるお薬です。 転倒・転落に注意し、ベッド上で過ごします。			術後3日目夕より抗生剤を内服します。 (1日1回、夕食後)		